|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 第5回 | 2017年5月15日 | | 【授業テーマ】洛中碑からみた洛中洛外 | |
| 【検討課題】 | 元禄8年に設置された洛中碑は、「京・京都・洛中」といった空間とどのような関係の中で成立し、どのような意味をもつ空間として設定されていたのかを検討する。 | | | |
| 【授業展開】 | 1.　課題提起 | | | 2.　江戸の下馬杭 |
| 3.　近世京都の洛中碑（下馬杭） | | | 4.　下馬杭と洛中 |
| 【Key words】 | 洛中碑(下馬杭)、洛中 | | | |
| 【事前学習】 | (1) | 傍示杭あるいは下馬杭は何を目的に設置されたのだろうか、一般的説明を調べておこう。 | | |
| (2) | 資料中の「木戸」とはどのようなもので、何のために設置されていたのだろうか、調べてみよう。 | | |
| (3) | 江戸の市街の広がりと下馬杭の位置との位置関係を調べてみよう。 | | |

下の空欄に調べた内容をまとめておくこと。